

水と暮らすまち
柳川



福岡県柳川市

柳川移住ガイドブック

水と暮らすまで

福岡県柳川市

恵みをもたらす水は

やがて有明海へ

柳川市は福岡県の南西部に位置し、「水郷柳川」と呼ばれている唯一の水のまちです。市内には、「掘割」と呼ばれる水路が縦横に網目のように張り巡らされており、その総延長は約930km。その水の流れは、今も昔も穏やかに私たちの暮らしに寄り添い続けています。

河川や掘割から流れついた水は、やがて有明海へ。水と共に生きる風土が、柳川ならではの情緒あふれる文化や景観、豊かな食文化を生み出しています。

所在地



柳川市は福岡県の南西部にあり、有明海に面しています。



人口

61,088人

令和7年3月末日現在

面積

77.15km²

標高は0～約6mの平坦な低地が続いています。山はなく、坂もひとつもありません。

気候

年間平均気温 17.4℃

過去3年間平均

寒暖の差は比較的少なく、温暖です。冬場もほとんど雪は降りません。

就労人口

計28,538人

令和2年国勢調査より

約40%の人が市外に勤務をしています。福岡市をはじめ、近隣市町への通勤も可能です。

事業所数

計2,863事業所

令和3年経済センサス活動調査より





乗船場にもどる川下りの舟



掘割の水を抜いて行われる、年に一度の一齐清掃



耳をすますと聞こえてくる舟唄
ゆつくりとした
心地よい空気の流れるまち

まちの中で日常的に目にする「掘割」は柳川で暮らす私たちにとって大切な場所です。ゆつくりとした時の流れと共に、四季折々の表情を見せてくれます。

市全体が平坦な地形で、もともと水が十分にある地域ではありませんでしたが、先人の知恵と技術によって、市全域に縦横に掘割が巡る独特の景観が築かれていきました。時は流れ、上水道の普及や生活排水による水質悪化から、一度は掘割を埋め立てる計画が持ち上がりますが、市民ぐるみの浄化作戦を展開し、掘割は再生を遂げました。

昭和30年代まで資材運搬や市民の生活用水として。現在は観光資源や農業用水、時に防火用水や災害時の排水の機能の要として。この穏やかな景色は、まちの資源として脈々と受け継がれています。



柳川の夏場の魚市場。食用クラゲが多く並びます。



麦秋の風景



気候にも恵まれた柳川には農産物・海産物ともに美味しいものがいっぱい。

米や麦、大豆をはじめ、あまおうや巨峰といったフルーツまで栽培されています。収穫された旬な農産物は、市内の店舗で新鮮な状態で手に入れることができます。

また、「宝の海」とも呼ばれている有明海では、クチゾコやクラゲなど、珍しい海の幸が味わえます。市内には筑後中部魚市場があるため、毎朝新鮮な魚介類が取引されており、多くの仲買人たちの活気に溢れています。

そして、柳川の食卓に欠かせない存在なのが、有明海の6mもの干満差を活かして作られる「海苔」。凝縮された旨みと豊かな香り、滑らかな口どけが特徴です。



有明海に広がる海苔の漁場



九州ではおなじみの魚のすり身の天ぷら。食卓にも欠かせない品です。



有明地方ではシタビラメのことをクチゾコとも呼びます。家庭でも煮付けは定番料理です。

地元で愛され続ける名物やソウルフードも、美味しいものはまだまだたくさんあります。



柳川で愛され続ける
日常の味



こしあんでだんご生地を包んだ串だんごは素朴な味。大人も子どもも大好きなおやつ。



柳川市民のソウルフード肉ごぼう天うどん。麺は筑後地方特有のふわっともちもちの食感。



柳川むつごろうランド 研修や宿泊、キャンプ、バーベキューなどが楽しめ、有明海や干拓地を活用した各種体験ができる拠点施設。大型複合遊具が子どもたちに大人気です。



地域子育て支援拠点施設
「このゆびとまれ」

「柳川だからできる」体験や施設ももりだくさん！水や緑と暮らす環境が子どもたちの豊かな感性を育みます。

子育て親子の交流や地域の子育て情報が集まる場です。子育て等の講習会その他、スタッフが常駐しているため、子育ての悩みや不安を相談できます。

※同施設内に、
やながわファミリーサポート
センターも併設しています



やながわ子ども・子育て応援金事業

柳川市での子育てを応援する、市独自の給付金です。

- ① 出産時応援金
子ども一人につき **5万円**
- ② 入学時応援金
子ども一人につき **3万円**
(小学校・中学校入学時)



柳川市の詳しい子育て情報は
こちらから



柳川市民文化会館 水都やながわ 「水上に浮かぶ柳川の舞台」をコンセプトとした施設。文化芸術にふれ、楽しめる場として、市民の憩いの場になっています。



水に親しみ、地域の文化や自然にふれる



正月明けに無病息災を願って行われる、ほんげんぎょう祭り



生息する生き物の観察と学習を行う二ツ川ウォッチング



干潟について学ぶ「柳川『有明海』なんでん体験隊」



北原 白秋
近代日本文学を代表する詩人であり童謡作家。
柳川市出身。

柳川市HP
やながわ人物伝



北原白秋先生の遺徳を偲び、水上パレードや文化・芸能行事が催されます。

白秋祭水上パレード(11月)



柳川に秋の訪れを告げるお祭りです。

三柱神社秋季大祭おにぎえ(10月)



6隻の舟をつないだ舟舞台の上で踊りや芝居が奉納されます。

沖端水天宮祭(5月)



雛祭り期間中、色鮮やかなさげもんがまち中を彩ります。

さげもんめぐり(2・3月)

歴史あるおまつりや数多くのイベントは季節の風物詩となっています。

柳川のおまつり



空が広くて日が長いのも 柳川の魅力です。

I
ターン

移住者プロフィール

松藤 宏幸さん(夫)
まつふじ ひろゆき
恵子さん(妻)
けいこ
紘さん(長女)
いと
わたさん(次女)

2019年に岐阜県高山市から移住。宏幸さんは大阪府出身、恵子さんは宮城県出身。共に、高山市にある木工家具や木造建築をつくる会社に勤め、宏幸さんは2011年に独立。宏幸さんのご両親の出身が柳川市。

移住のきっかけ

大阪生まれの大阪育ちで岐阜県内の会社に就職しましたが、先にUターンして柳川に住んでいる両親の近くにいれるように、と移住を考えはじめました。近隣地域も検討しましたが、最終的に柳川に決めました。

工房探し

岐阜県で就職後、2011年に飛騨高山で独立し、オーダーメイドの家具や小物を作る工房「Hikokai woodworks」を構えていました。様々な機械を置いて使用できる広さの工房が必要でしたので、移住前か

ルになり、これまで学童内でしか遊べていなかった子どもたちが学校から帰宅後、友達と遊びに出かける光景も見られるようになりました。

日の長さを利用して趣味の時間

高山市のように山に囲まれた環境と比べるとこちらの方が日が長いんです。ですので、仕事以外の趣味の時間が増えました。ちなみに私は移住後、日が長いのを利用して、仕事後の時間に家庭菜園を楽しんでいます。柳川では、1年を通していろいろな野菜作りができるのが嬉しいですね。

ひらけた風景と広い空が魅力

山に囲まれた生活だと空が狭く感じるんですが、山のない柳川は空が広くて、ひらけた風景がとても気持ちいいんです。有明海の景色も好きで

ら物件を探していましたね。遠方からの移住ということもあり、時間と労力ばかりでしたが、運良く現在の工房を見つかることができました。

対応が親切丁寧

私の場合は、まず柳川商工会議所さんを探ね、柳川市役所の移住サポートセンター(企画課)に行き、移住に関する資料をいただきました。皆さんがとても親切丁寧に対応してくださり、ありがたかったです。

すぐに環境に慣れた子どもたち

長女が小学校、次女が保育園に通っていた時に引っ越してきたので、環境に慣れる心配しませんが、2人ともすぐに友達もでき、柳川弁も早い段階で使うようになりました。また、移住後は妻の仕事が在宅でも出来るようなスタイ

す。むつごろうを見た時は感動しました。「本当にむつごろうっているんだ」って。

野菜や魚、肉などの食べ物安くて美味しいのも柳川の魅力のひとつだと思います。

移住することで、これまでと違うライフスタイルを味わえるのは楽しいですよ。私たち家族は今、新たな暮らしを柳川で満喫しています。



有明海では、伝統的な漁法であるくもて網やムツかけ(むつごろう釣り)なども体験したとのこと。「ここでしかできない体験でおすすめです」と恵子さん。

人との距離、
出かけていく街との距離が
ちょうどいいんです。

I

移住者プロフィール

みづら てまや
三浦 徹弥 さん

2017年10月に柳川市のお試し移住体験施設「もえもん家」に夫婦で入居。同年12月には東京都多摩市から移住。現在は柳川市に隣接する大川市海苔養殖会社「株式会社アリアケサイサン」に勤務。出身は愛知県。

移住のきっかけ

移住する前は、東京都在住で書店に勤めていました。日々忙しく、大きく環境を変えようと思いい、仕事を辞め地方移住を意識しはじめました。その頃「移住フェア」に参加し、そこで初めてお試し移住ができることを知りました。移住者の多いイメージだった福岡県に絞り、柳川の移住体験施設「もえもん家」にお試し移住することにしました。 「柳川」という地名は聞いたことがあるぐらいで、具体的にどのような所なのか知りませんでした。

お試し移住で出会った「人」

移住後の仕事探しに不安を感じながらも妻と3週間お試し移住することにしました。まず嬉しかったのは、「もえもん家」の管理運営団体である「柳川暮らしつぐ会」さんが様々なサポートをしてくれたことです。柳川のみち案内などもしていただきました。その会の方々の紹介で、有明海で盛んな海苔養殖をされている漁師さんと出会いました。

お試し移住で出会った「海苔」

時期は10月、有明海に出て海苔網を張る大変忙しい時期。私も船に乗り、手伝いに行きました。もともと第1次産業に興味もあり、大変面白味を感じたことを覚えていきます。

お試し移住が終わって東京に一旦戻りましたが、その体験が忘れられず、翌々月にはその漁師さんの会社に勤めることになり移住しました。今では、美味しい海苔ができたときの達成感を味わうことが楽しみになっています。

人との距離がちょうどいい

海苔仕事がちょうど夏場には、農協で育苗などの農業関係のお手伝いをしています。それらの仕事も周囲の皆さんが紹介してくれます。そうやって仕事を頼んでもらえ、必要としてくれるのが嬉しいんです。そうした皆さんとの距離感が、私には大変居心地がいいです。

遊びに行く街との距離もちょうどいい

東京生まれ東京育ちの妻も柳川を楽しんでいます。こちらには野菜などが安くて美味しく、妻はお気に入りの八百屋さんを見つけて料理を楽しんでいます。



海苔漁師さんとのご縁をつないでくれた「柳川ゲストハウスほりわり」の島田侑季（しまだゆき）さん。柳川暮らしつぐ会のメンバー。

東京で暮らしている時は、自分たちの時間がなく心の余裕がありませんでした。今は、繁忙期以外はだいたい18時には家に帰りゆったりと過ごしています。



柳川のたくさんの魅力も満喫しながら生活しています。

移住者プロフィール
 西山徳太郎さん(夫)
 加代子さん(妻)

2016年に神奈川県横浜市より移住。2017年に神社参道脇に戸建てを新築。徳太郎さんは佐賀県鳥栖市出身、加代子さんは柳川市出身。ご結婚後、徳太郎さんが33歳の時に、東京転勤で神奈川県横浜市に転居。

移住のきっかけ

33歳の時に福岡県から横浜市に転居しました。それから30年以上、66歳まで勤めておりましたので、都会暮らしには慣れていました。故郷と離れていると、お墓の世話などがなかなかできないことが心残りでした。

移住を考えたのは60歳を過ぎた頃。今住んでいる家の近くを訪れる機会があり、由緒ある柳川の神社参道脇という環境に感動しました。森のような静けさもあり、パワースポットのように感じたのです。ここに住みたいと強く想いました。この場所に移住することにしました。

孫たちの田舎ができた

2016年に移住し、最初は親戚の家に住んでおりましたが、住居を新築し2017年から今の家に住みはじめました。都会暮らしが知らない子や孫たちは、「田舎ができた」と大変喜んでくれています。図書館や公園などの施設も充実しているの、子どもや孫が来た時は、十分に柳川を楽しんでくれます。

魅力が多い柳川

移住当初は、柳川の人に「何もないところでしょう」と言われることもありましたが、とてもない。空気がきれい、景色がきれい、野菜も魚も新鮮で食べ物も美味い、温泉もある、歴史もある。ほんとに充実しているんです。それほど都会ではなく、それほど田舎ではないところもいいのではないかと思います。

ゆったりとした時間

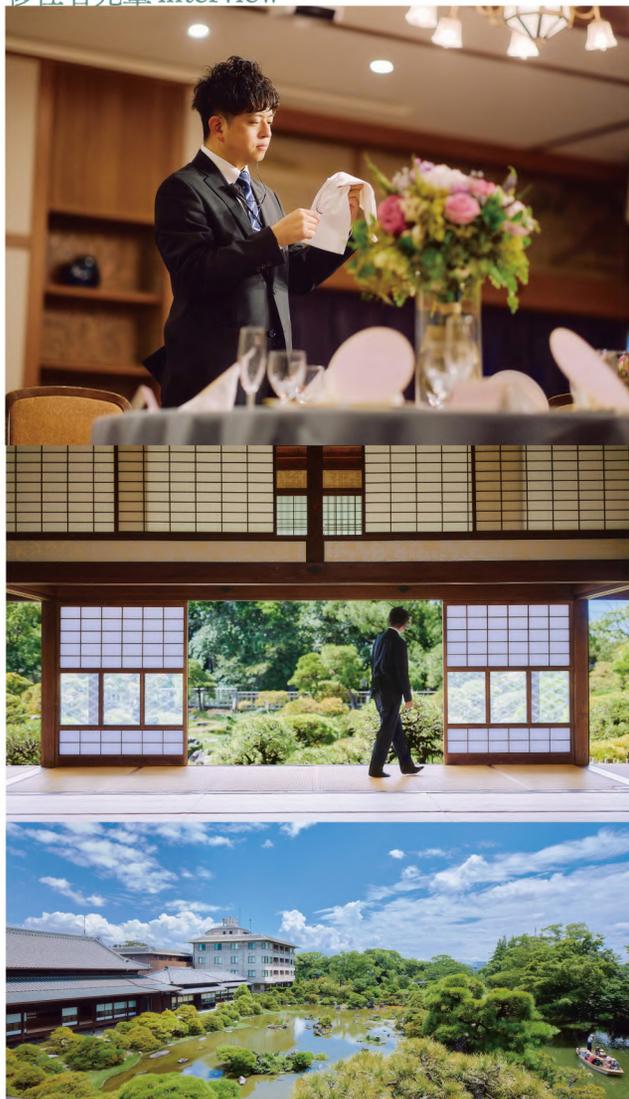
私の好きな景色は、有明海沿岸道路から見える景色。南を見れば長崎の雲仙岳、北を見れば佐賀の脊振山系。このような景色は東京にはないですね。柳川の魅力のひとつは、「ゆったりとした時間」かもしれません。東京とはスピード感が全然違って、都会の人は歩くのも速い。最初は、柳川のお世話好きな人付き合いに戸惑いましたが、今ではむしろそれが心地よくなっています。

積極的に行動して楽しむ

移住後は、積極的に行動しています。毎朝の楽しみは、仲間と集まってやっているラジオ体操に参加することです。シルバ一人材センターにも登録し、月2週間ほど学校の用務員をしております。それ以外は、地域のイベントや歴史講座にも積極



気軽に楽しめる温泉も西山さんの楽しみのひとつ。柳川総合保健福祉センター「水の郷」内にある柳川温泉「南風(はえんかせ)」はお値段もお手頃で嬉しい。



やっぱり後悔しなくなかったのだから、移住を決めました。

J
タイン

移住者プロフィール
かねこともひろ
金子倫宏さん

2023年4月に神奈川県横浜市より移住。出身は福岡県大牟田市。以前は都市計画コンサルタント業に従事。同年5月から柳川藩主の末裔が営み、大名文化を感じられる料亭旅館「柳川藩 主立花邸 御花」に勤務。主に婚礼・宴会のパンケットサービスを担当。

移住のきっかけ

柳川に移住する前は、大阪や東京、直前は横浜に住んでいました。前職は都市計画コンサルタント会社に勤めており、通勤時間は1時間20分。仕事の内容も精神的負担が大きく、都市計画の主な業務でもある自治体や地域住民との調整を行うなど大変な作業でした。また、都会のお互いに干渉しないという割り切った考え方でなく、もつと人との距離を近くに感じたいとも思っていました。

転職までの流れ

転職を考えたのは、信も参加させてもらっています。私は特に古い建物が好きです。今の職場もそうですが柳川には文化財も多く、その持っているポテンシャルも非常に高い。こうした文化財を活かして「観光×まちづくり」という視点で、観光客はもちろん、地元に住む方々も一年中楽しめる柳川になればいいなと思っています。今はそうしたことを考えているだけでもワクワクしています。

転職して「顔が変わった」

ちなみに転職してまでもなく、前職で付き合いのあった人にお会いしたのですが、「元気になったねえ！顔が変わったよ。前は全然違う。」と言われました。もしかしたら、そのワクワクが顔に出ているのかもしれない。

趣味は「建物見物と山登り」

生活面では、移住してまだ日

頼っていた上司が別部署に異動した頃。これまで培ってきたスキルを活かすため、同じような業界への転職を考えていました。しかし、地元で何かできないかと考えはじめ、業種よりも地元福岡を意識するようになりました。大牟田市に住む両親の近くにいられることもその理由です。そこで福岡への移住転職エージェントサイトに登録し、今の職場を知りました。2023年4月に都市計画コンサルタント会社を辞め、5月には「御花」に転職しました。

文化財を活かしたまちづくりを

サービス業は未経験でしたが、サービスだけに限らず、私がかねてより都市計画コンサルタントの仕事で身につけたスキルも活かせるそうなので、今の職場に決めました。文化財を維持管理していくための調整会議には浅いですが、休みの日は市内の古い建物などを見て過ごしたいと思っています。もう一つの趣味が山登り。山でテントを張って過ごすのが好きで、柳川からだ阿蘇や九重に行けるので今から楽しみです。

やらない後悔よりも、やって後悔したいと思うので、少しでも転職したい移住したいと思ったらすぐに動くべきだと思います。



近所のお魚屋さん兼食堂では、新鮮な旬の魚介を楽しめる。「まだ移住してきたばかりなので、これからいろんなお店を開拓したいです」とのこと。

支援制度はありますか？

・移住支援金

三大都市圏（東京圏・名古屋圏・大阪圏）または福岡県外から柳川市に移住し、要件に該当する就業等をした方に、移住支援金を交付します。

単身での移住	60万円
2人以上の世帯での移住	100万円
18歳未満の子ひとりあたり(加算)	100万円

・U-45 マイホーム取得支援事業

対象：柳川市内で住宅を取得（新築や売買など）した45歳以下の方
商品券5万円分 ※市内200店舗以上で使用可能

・結婚新生活支援事業

対象：結婚を機に柳川市内で住宅を取得した39歳以下の新婚夫婦
住宅の取得費用を補助（最大30万円。29歳以下は60万円）

農業をやってみたいのですが？

・新規就農相談会 毎月第2水曜日（予約制）

就農までのステップや必要な資金について等、気になることや不安なことは、なんでもご相談ください。



・就農する方への補助

柳川市では青年等就農計画の認定を受けると、支援制度を利用できます。

〔補助内容〕

① 経営開始資金

年間最大**150万円**（最長3年）を補助します。※支給要件有

② 青年等就農資金

新たに農業経営を始める人に**無利子**で上限**3,700万円**（特例あり）の資金を貸し付けます。※貸付要件有

起業・創業支援はありますか？

・新規創業者支援事業補助金

市内創業の促進と商店街の空き店舗解消のため、創業する者に対し初期投資の一部を補助します。

〔対象者〕市内に事務所を設置する者で、起業・創業セミナーを受講し、市税に滞納がない者

〔補助金〕補助対象経費の1/2（上限50万円。商店街加入者は75万円）



地元就職に対する支援はありますか？

・雇用・定住促進奨学金返済支援事業補助金

筑後地域に就職もしくは起業または市内において第1次産業に従事しながら奨学金を返済している市内在住の若者に対して、補助金を交付します。

〔補助金額〕

上限**60万円**（年度上限20万円×3年）



暮らしに必要なものは揃っていますか？

● お買い物

スーパー **8**店 / コンビニ **23**店
ホームセンター **2**店 / ドラッグストア **9**店

● 医療機関

病院・診療所 **55**か所 / 歯科 **37**か所

● 金融機関

銀行等 **12**支店 / 郵便局 **13**局



車がなくても大丈夫？

平坦な土地なので徒歩や自転車での移動も楽です。車があるとより便利です。

公共交通機関

- ・駅（西鉄電車）**6**駅
- ・路線バス **3**路線（西鉄バス、堀川バス）
- ・コミュニティバス ※**10**路線
- ・タクシー会社 **4**社



西鉄柳川駅
2015年グッドデザイン賞受賞

※ コミュニティバス

市役所、総合保健福祉センター、病院、商業施設や路線バス等の通っていない地域・集落を巡回するルートで運行しています。

利用料金：100円 / 1回
（ただし小学校入学前の子どもさんは無料）



家賃相場はどのくらい？

賃貸（アパート）家賃相場

平均 **5.0**万円（2LDK） / 平均 **7.1**万円（3LDK）

子育て・教育関係施設はどのくらいあるの？

保育園	幼稚園	認定こども園	小学校	学童保育所
16 ※1	0	5	14	14
中学校	高校	専門学校	図書館	
6	3 ※2	3	7	

※1 柳川市は待機児童数ゼロです ※2 県立1、私立2

2025年4月現在

市内MAP



七ツ家梅の木街道



国道443号バイパス



中山の大藤



堤防沿いに続く
気持ちの良い景色



花島菖蒲園



柳川ひまわり園



干拓地に広がる
田園風景



- 凡例
- ⌘ 小学校・中学校
 - ⊗ 高等学校
 - ⊕ 病院
 - 🏪 スーパー
 - 📖 図書館

有明海

筑後川

大川市

大木町

筑後市

大川東IC

柳川西IC

柳川東IC

国道443号バイパス

金子病院

柳川病院

甲斐病院

筑後中部魚市場

地域子育て支援拠点
このゆびとまれ

矢加部駅

三橋IC

西鉄柳川駅

市役所
三橋庁舎

443

水の郷
・柳川温泉 南風
・柳川市立図書館
水の郷分室

柳川市商工会
柳川市民文化会館
水都やながわ

徳益IC

443 バイパス

柳川療育センター

至みやま柳川IC→

柳川
リハビリテーション病院

塩塚駅

長田病院

市役所
大和庁舎

大和北IC

西鉄天神大牟田線

みやま市

柳川よかもん館

大和南IC

208

西鉄
中島駅

柳川
・むつごろうランド

高田IC

至大牟田↓

柳川よかもん館

柳川
商工会議所

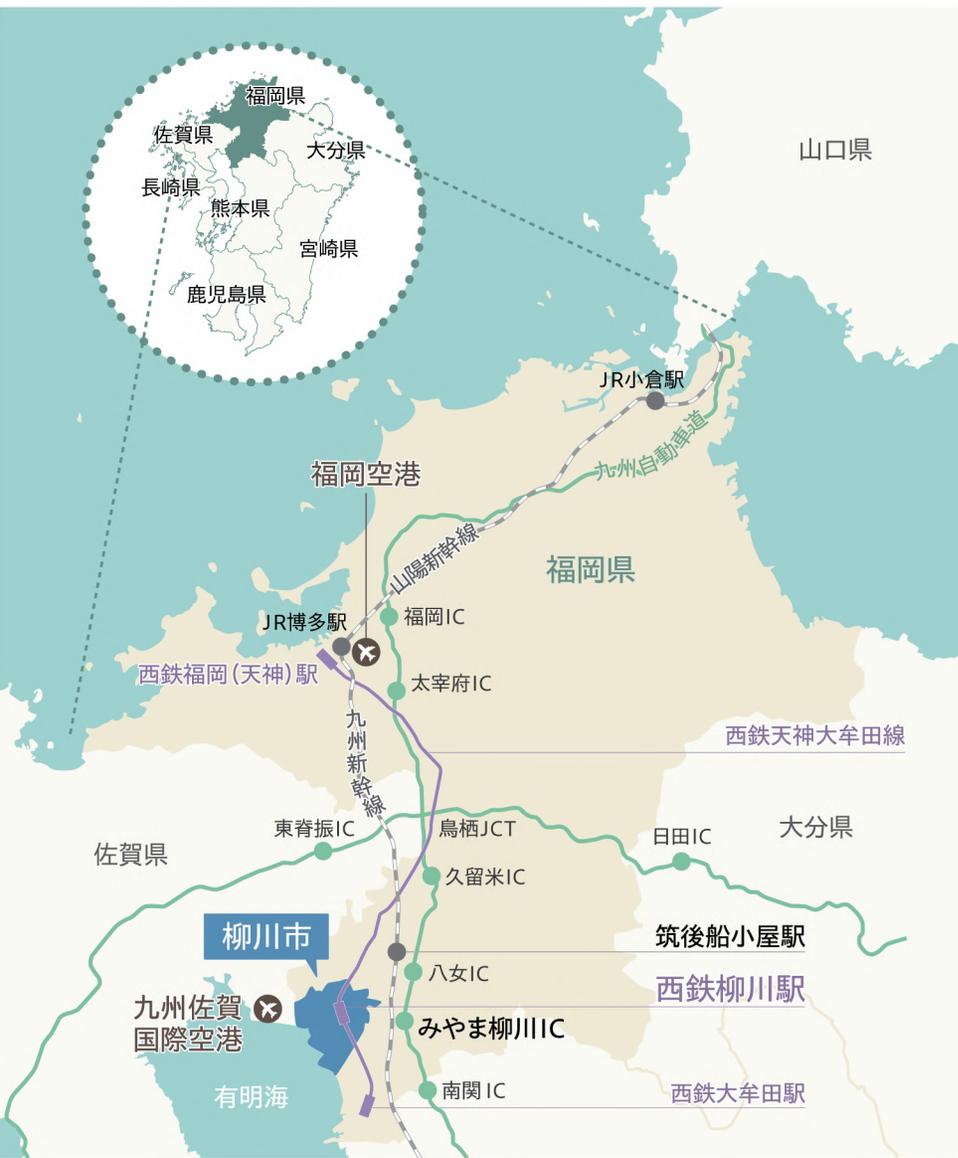
柳川市立図書館

西鉄
柳川駅

市役所
柳川庁舎

市民体育館

ハウス
もえもん家



JR 博多駅	九州新幹線 約25分	JR 筑後船小屋駅	在来線 約3分	JR 瀬高駅	バス 約20分	西鉄柳川駅
		在来線 約60分				
福岡空港	地下鉄 約11分	地下鉄天神駅	徒歩 約3分	西鉄福岡(天神)駅	西鉄天神大牟田線 約50分	柳川市街
九州佐賀国際空港		リムジンタクシー 約30分				
九州自動車道みやま柳川IC		車 約20分				

柳川移住ガイドブック

柳川市企画課 初版 2023年 9月発行 / 第2版 2025年 4月発行

文章・デザイン 甲斐 恵佳(アイカタ) / 取材 横山 倫宏(cdnysp) / 撮影 星野 雅俊(合同会社月夜)

本パンフレットで使用している写真には、柳川市所有のものも含まれます。

柳川市の移住に関する制度もご利用ください。

移住体験施設「もえもん家」^{ハウス}

柳川での生活を体験・体感してもらうためのお試し居住体験施設です。掘割沿いの一軒家で、柳川暮らしが体験できます。



※「もえもん」とは、柳川の方で「みんなで分け合って仲良く使う」という意味です。

- ・ 体験期間：20日以上1か月以内
- ・ 体験料：2,000円 + (体験日数 × 400円)
- ・ 立地：コンビニ徒歩1分 / スーパー徒歩10分 / 西鉄柳川駅徒歩15分 / 市役所徒歩3分 / 図書館徒歩0分
- ・ 間取り：2DK (105.79㎡)
- ・ 備品等：家電(オール電化) / 無料Wi-Fi / 食器 / 自転車 / レンタル寝具(無料) / 駐車場有り

「柳川暮らしつぐ会」がみなさんをお待ちしています!

もえもん家の管理や体験者のサポートを行い、市内案内、歴史まち歩き、地域の方との交流会などを行っています。

一般社団法人 柳川暮らしつぐ会

古民家の活用を軸に、暮らしにまつわるモノ・コト・ヒトを伝えつなげています。市内の建築や不動産の専門家の他、地元の歴史を長く見てきた大先輩や U ターンの若者など、幅広い年代のメンバーで活動している市民グループです。



オンライン移住相談

オンラインによる移住相談を受け付けています。スマホからもお気軽にどうぞ。

※ 相談は事前予約制となります。

問合せ先

柳川市移住サポートセンター(柳川市役所企画課内)

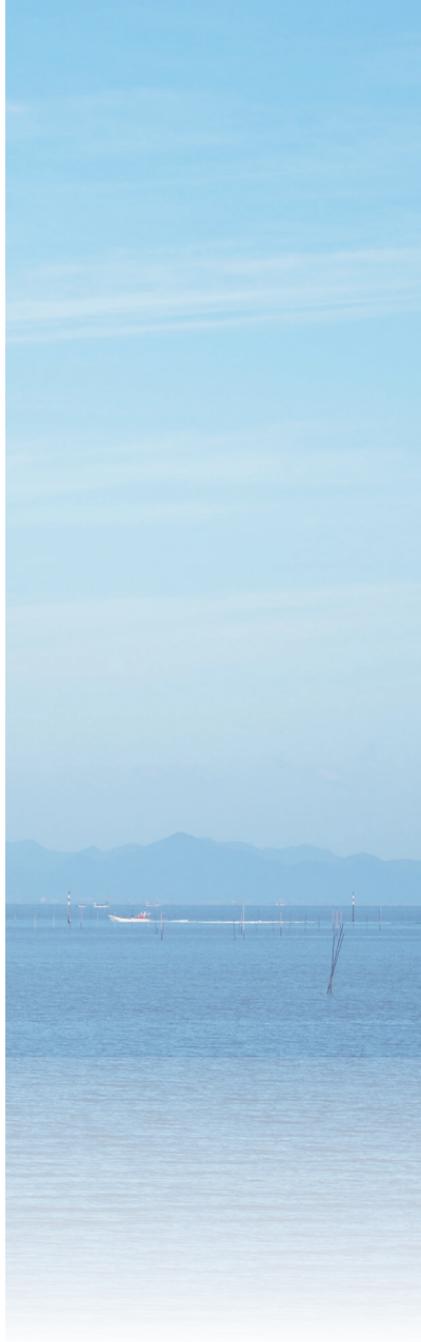
TEL 0944-77-8423 (平日 8:30~17:00)

Mail kikaku@city.yanagawa.lg.jp





福岡県の南西部に、水郷と呼ばれるまちがあります。
まちの中を巡る歴史ある掘割と豊かな有明海とともに暮らす、
ゆっくりとした時間がここに 있습니다。



柳川市移住サポートセンター
(柳川市企画課内)

福岡県柳川市本町 87 番地 1
TEL 0944-77-8423
FAX 0944-74-5520
kikaku@city.yanagawa.lg.jp